

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	新たな作業環境測定方法の実証的検証		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始		担当課室	労働衛生課環境改善室		亀澤 典子	
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	作業環境測定の測定方法について、化学物質によってはその特性(粒子径の大きさや水溶性か否か等)により生体への影響度も異なってくるため、本事業においては、当該特性に対応した新たな測定方法等の開発に向け、実証的に検証するものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	労働安全衛生法において、一定の有害作業場では作業環境測定の実施が義務づけられているが、粒子径の大きさや水溶性か否か等の物質の特性により、生体への影響が異なってくることも指摘されており、その測定方法も特性に応じたものにするのが求められている。よって、本事業では最新の知見の収集や測定の実施、また、専門家を参集して検討会を実施することにより、今後のより適切な新たな測定手法等の開発に向け実証的に検証を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算				9.3	8.9
		繰越し等					
		計				9.3	8.9
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	現在はまだ開発されていない測定手法等について新たに研究を行うものであり、本事業の研究結果については、即時に測定手法を確立出来るとの確約が出来るものではないことから、アウトカムの設定は困難である。	成果実績		-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、未だ開発されていない化学物質の特性に応じた測定方法を開発すべく研究を行うものであり、定量的なアウトプットを示すことは困難である。24年度事業の定性的活動指標として、本事業において知見の収集・専門家による検討等を行うことにより、対象化学物質の測定手法を確立する。	活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	8.9	8.5	謝金単価等の見直し			
	消費税	0.4	0.4				
計	9.3	8.9					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	作業環境測定基準は大臣告示で定められており、より適正な作業環境の評価に結びつけるために、本事業により測定手法等を検証することは優先度の高いものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	作業環境測定基準は大臣告示で定めているものであり、その改正などの検討については、国で実施すべきものである。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	－
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は、今後のより適切な測定手法等の検証を行うものであり、専門家を参集して実地に検証を行うこととしており、実効性の高いものとしている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	－
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	－
－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－	
点検結果	<p>本事業は化学物質の特性に応じたより適切な測定手法の開発を行うものであり、専門家の参集や各化学物の効果的な測定等について検証を行う。化学物質を取り扱う作業場において、労働環境のより適切な実態把握を目指して行うものであり、これが実現すると労働者の健康確保措置にもつながる。</p> <p>契約は一般競争入札で行われたものであるが、予算の効率的執行に留意し、事業を進めてまいりたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
職場の作業環境方法の新たな手法を検証するための事業であり、必要な予算措置に努めること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					